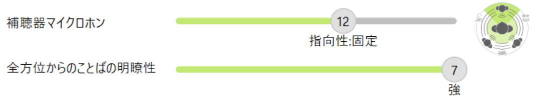
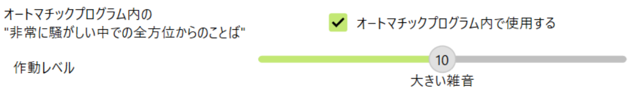
フォナック オーデオ インフィニオ　Q＆A

	質問	回答
1	エコーブロックは完全に機能としては存在しなくなったのでしょうか？	搭載機能としては完全に削除されています。ただ、APD 3.0 のアダプティブコンプレッションの恩恵を受け反響音に対応できるようになっています。
2	個別試験による品質の検証項目と検証時間：135 項目、1,000 時間とあるが、ルミティはそれぞれどうだったのか？	ルミティの時間数は出ていませんが、ルミティでは 128 項目の個別試験をしています。ルミティも既に信頼性高い製品なのですが、インフィニオではさらに厳しい個別試験を 7 項目増やしてそれをパスするという課題を増やしました。
3	Target で、「オートマチックプログラムへのアクセスを 1 日 3 時間に制限する」のチェックを外した場合の電池の持ち時間の目安を数値で教えて欲しい。	✓を外して、非常に騒がしい中で会話をする場面がひたすら続いたと仮定すると、マックスで 7～8 時間になります。Phonak Target のフィッティングデータから世界中のデータを分析する限り、非常に騒がしい環境下に 1 日 3 時間以上いる人は本当にごく僅かであると出ています。そのため、3 時間は使っても丸一日使えるよう充電池を大きくして作られています。
4	オートセンス OS と全方位からのことばの明瞭性を 3 時間、ストリーミングと通話を 5 時間使用した場合の電池の持ちは 16 時間とのことだが、ストリーミングをしない場合は何時間位になるか？	ストリーミングをしなければ、24 時間以上使えます。
5	ハウジングにプラズマコーティングしているとあるが、ルミティはどのようなコーティングをしていたのか？（ナノコーティングか？）また、プラズマコーティングとルミティのコーティング（ナノコーティング？）の違いを教えて欲しい。	プラズマコーティングは摩擦や錆など耐腐食性と密着性が強いのが特長です。一方で、ナノコーティングは非常に薄いので透明性や抗菌性などが特長的です。またプラズマコーティングはナノコーティングよりも高度が技術が必要なためコストが高く、その分医療機器（例：インプラント）などにも使われるので生体適合性がより高いです。
6	■雑音下での OS 推移における周囲のノイズ量について　だいたい 70dB くらいから切り替わりますか？	作動レベルは初期設定で 69dB です。ノイズフロアは 59dB です。
7	チャージャーGo スフィアに使用されている充電池の容量は mAh でしょうか。	380mAh です。
8	25 秒で「全方位からのことばの明瞭性」に切り替わるとのことですが、オートセンスの変化スピードを低速～高速に設定変更しても 25 秒かかるのは同じでしょうか。	もし高速にスライドを上げてもらうともっと早く切り替わります。25 秒はスライダーが真ん中にある状態です。プログラムが素早く切り替わるとそれによって気分が悪くなる方を考慮されたため、フォナックでは必要がなければ普通のままを推奨しています。

9	全方位からのことばの明瞭性では、早く認識した入力音声で指向性の範囲が選択されますか？また声の大きさで変化しますか？例えば、話している最中に周囲で大きな声の会話があったときはどうなりますか？速さ、大きさ、優先順位など（あれば）について教えてください。	時間にも方向にも制限がないので、ことばが検出され、その方向性が検出されたら適切な指向性マイクロホンが選択され、それに合わせて全方位からのことばの明瞭性が機能します。速さ、大きさなどの順位は存在しません。話している最中に別の声が入って来たとしても、それがことばの要素であれば聞こえる仕組みです。
10	補聴器の充電時間は 3.5 時間。これは蓄電 0%の充電器で充電 0%の補聴器を充電した場合でも 3.5 時間で充電器も補聴器もフル充電できると考えてよろしいでしょうか？	はい､3.5 時間の充電時間には補聴器と充電器が含まれています。
11	スフィアの充電が満充電の状況でケースの蓋をあけると、補聴器のランプが消灯していることがしばしばあります。点灯している状況は満充電とわかるのですが、消灯も満充電でしょうか。説明書には消灯の記載がないため、決まった反応があるのであれば、修正希望します。（補聴器は通常どうり起動します）	補聴器は完全に充電されると自動的に充電処理を停止しスリープモードになります。それによって消灯になっていると考えられます。取説の改訂については検討いたします。
12	雑音の「除去」と「抑制）の違いの定義を教えてください。 言葉どおりではなく補聴器の性能としての定義が存在するかと思いますので、よろしくお願いいたします。SN 比の改善度合いでしょうか。	*雑音を除去する…雑音をその場から消す* *雑音を抑制する…雑音の大きさを下げる* いずれも SN 比を改善します。比較結果が無いのですが、もし I-スフィアと L-R を比較したとすると、全方位からのことばの明瞭性とステレオズーム 2.0＋ダイナミックノイズキャンセルでは、非常に騒がしい中でのことばの SN 比は大きく異なります。ステレオズーム 2.0 は前方に強いですが、それでも抑制になるので同じ周波数帯域にことばも存在した場合、ことばのレベルも抑制される場合があります。全方位からのことばの明瞭性は、それをしないように DNN を使って信号処理を行い、雑音部分だけを消すという作業を行うので、ことばの大きさが小さくなるといったことがありません。
13	スフィアにはストックモードがなくなりましたでしょうか。再起動は確認いたしました。ストックモードのような OFF にする機能は他にありますか。	現時点ではストックモードは無いのですが、次回ターゲットのバージョンでストックモードにソフトウェアを使って行う仕様になる予定です。
14	充電端子は何の金属をロジウムメッキしたものでしょうか。	そうです。充電端子はロジウムメッキコーティングをしています。ロジウムメッキコーティングは一般的に化学的に安定しており、常温では酸化や変色を起こさず錆びにくい特徴を持っています。
15	トレーニング時に Bluetooth 受信側の接続が切れそうになると逆側の補聴器に接続されると伺いました。どの様なシステムかお教えください。	基本的には BT 受信機側（マスター）が送信作業を行います。しかし、電波環境が悪いと判断すると、もう片側が一時的にマスターとなり代わりに送信作業を行

		います。これは瞬間的に行われるため、受信機側が一瞬変わったことは誰も気づかずに行われます。これが出来るのは BT5.3 になって通信速度が早まったことによる恩恵です。
16	ターゲットに掲載されているが ITE 充電はいつ出ますか？	現在回答できる情報がありません。「いつ」は言えない状況ですが、発売に向けてスイス本社が準備を進めています。お話できる時期が来たらお伝えさせていただきます。
17	実際の環境で電池寿命はどのくらいですか？	スフィアのことだと思いますが、例えば補聴器をかなり使用して「全方位からのことばの明瞭性」を 3 時間、オートセンス OS を 8 時間、ストリーミングを 5 時間使ったとすれば期待動作時間は 16 時間となります。ただ、設定したフィッティングや作用しているハウリング抑制によっても異なります。
18	TV の音声はどのように処理され、どのプログラムになるのか？音声は AI で除去されますか？	TV の音はオートセンス OS ストリーミングプログラムになるので AI は利用されません。
19	「全方位からのことばの明瞭性」について 0〜7 まで存在しますがどういう変化しますか？（何 dB の効果が生まれますか？）	0〜7 の細かい数字に何 dB の設定はありません。見ていただきたい部分は弱・中・強の箇所です。SN 比は「全方位からのことばの明瞭性」と「指向性マイクロホン」が連動することで改善します。最大 10dB は固定指向性＋レベル強の設定ですが、例えば、固定指向性＋初期設定レベル中であれば 8dB の改善となっています。 
20	「作動レベル」について 「普通の大きさの雑音」「大きい雑音」「非常に大きい雑音」と 0〜20 が存在しますが、それぞれ何ｄB の騒音下で「非常に騒がしい中での全方位からのことば」がオートセンス OS 上で発動しますか？	作用レベルは、弱：66dB　中：69dB　強：76dB です。初期設定は中です。 
21		